

★読書の窓 6月に読みたい本★

お口の中を考える

6月4日から10日までの1週間は歯の衛生週間です。もともと「6（む）4（し）」に因んで6月4日に虫歯予防デーを実施していたのが始まりということです。歯やお口の中について書かれた面白い読み物が図書館にはたくさんあるのをご存知でしたか？ 飲食や会話、私たちの日常において大切な役割を果たしてくれている歯やお口。今年の歯の衛生週間は、読書を通じて深く知ってみてはいかがでしょうか？

『ねこが虫歯にならないわけ』
中野愛彦／著 五月書房

歯をみると動物の色々なことがわかります。肉食系、草食系、そしてどちらも食べるヒトなど、動物の歯や口のまわりの形は、食べ物の種類や食べ方によって異なります。

「パンダは肉食動物？」「出っ歯になった動物たち」「馬が丸顔だったころ」「ヒトの乳歯は生きている化石」……。悠久の進化の足跡までみえてくる、動物の歯にまつわる奥深い話が詰まった本です。



『はははのはなし』
加古里子／ぶん・え 福音館書店
なぜ虫歯になるのか、どうしたら防げるのかをインパクトのある絵とともにわかりやすく説明しています。ぜひ、はみがきが苦手なお子様と一緒に読んでみてください。



『どうぶつの口』
ネイチャー・プロ編集室／編著 偕成社
ペリカン・カバ・カモノハシやクジラなど、さまざまな野生動物の口の持ち主を、美しい写真を使いクイズ形式で楽しく紹介しています。どうぶつたちの暮らしが見えてくる絵本です。



『「息さわやか」の科学』
川口陽子／監修 明治書院

口臭に関する研究は、近年著しく進歩しています。本書は口臭の基礎知識、においを感じるメカニズム、口臭の原因となる病気、口臭の予防対策など、口臭に関する情報を分かりやすく解説しています。人と気持ちよく会話するため、むし歯や歯周病予防のため参考にされてみてはいかがでしょうか。江戸時代の浮世絵にも口臭予防のための歯みがきの様子が描かれていたそう。口臭予防はずっと昔からのエチケットだったんですね。



『入れ歯の文化史 最古の「人工臓器」』
笠原博／文 文春新書

「噛める入れ歯」が登場するまで、歯痛に苦しんだ歴史上の人物たちはどのように生活していたと思いますか？ワシントンの肖像画がしかめ面なのは、実は入れ歯に深く関係しているようです。五千年前の歯科医学から現代の歯科インプラントや未来の入れ歯の話まで、入れ歯で時代を読む、興味深い一冊です。



おはなし会のお知らせ

★おはなし会（水曜日 午後3時30分から 2階・教養室）

6/6・13・20 【絵本や紙芝居などを読むよ！】

★大おはなし会（第4水曜日 午後3時から 2階・レクホール）

6/27 【ビデオ上映や折り紙などもいadakさん！】

★赤ちゃんおはなし会（第3木曜日 2階・教養室）

6/21 【ﾌﾟﾚﾏﾏ&ﾌﾟﾚﾊﾟﾊﾟさんも是非どうぞ♪】

○1歳半～3歳向け 10:30～10:50

○0歳～1歳半向け 11:10～11:25

さんかひまりよう
参加費無料！

まちたんけん！ やよい図書館へようこそ！！

5月9日、栗島小学校の2年生のみなさんが、やよい図書館にいらっしゃいました！！
図書館の仕事についてお話を聞いたり、館内を自由に見てまわったり、ミニおはなし会にも参加してもらいましたよ。みなさん、図書館のことをよく分かってもらえたでしょうか？ぜひまた図書館に遊びにきて、たくさん本を借りて行って下さいね！



みんなどんな本をか
りたのかな？



じどうとくしゅう
児童特集コーナー

しょくいく

「食育」



6月、児童の特集コーナーでは「食育」をテーマにいろいろな本をそろえています。ひとつの食べ物について詳しくなれる本、栄養について分かる本、料理の本…みんなが嫌いな食べ物が、実は病気から体を守ってくれているのかも…？みんなで「食」に関する本を読んでみましょう！！